

田無駅でユニセフ募金

本校ではここ数年6年生の活動として、西武新宿線田無駅前にて、クラス毎に日を替えて、ユニセフの活動に取り組んでいます。

4年前の6年生が総合的な学習の時間「命の学習」の仕上げとして、自分たちにも何かできることはないかと考え、この取組みが始まりました。

自分たちが調べたことや考えたことなどを毎年真剣に訴え続けています。最初は少し恥ずかしい気持ちもあるようですが、次第に呼びかけも熱がこもってきます。そのかいもあり、今年は30万円近くも善意が集まり、協会に贈らせていただきました。



田無小学校

町も心もきれいに!!

全校児童と教職員が、地域の育成会・クリーンあけぼの・東っ子を守る安全連絡会・防犯協会・東小運協・東小父母の会等の皆様と協力して、文理台公園と都道の清掃を昨年度に引き続き行いました。

雨で延期となりましたが、11月4日の朝、全校児童と教職員、保護者、関係団体の皆様等合わせて500名を越す人数で協力して清掃活動を行いました。

「ゴミを拾える人は、ゴミを捨てなくなる」ということを信じて、地域の一員としての児童の成長を楽しみにしています。

東小学校



この町大好き! 心もきれい!!

地域あいさつDAY

～地域に明るい挨拶を～

明るく安全なまちづくりのために柳沢中学校近隣の小学校、各学校PTA、商店街、親交会、青少年育成会、防犯協会を含めた地域の様々な団体の参加の下に地域ぐるみで行う取組みとして「地域あいさつDAY」を4月末に実施いたしました。今回は第2回の取組みとして平成21年1月9日(金)～19日(月)、6日間の日程で実施しました。期間中は小学生、中学生を見かけたPTA、地域の方々、教職員が、「おはよう」「おかえり」「こんにちは」「さようなら」などの一声を通学路に立って声をかけました。

柳沢中学校



朝早く通学路で爽やかにあいさつをします。

「緑のカーテン」取組み3年目

緑のカーテンの取組みも3年目を迎えました。今年は、教育委員会のご配慮で一層しっかりとした花壇の枠ができました。本校では、4年生が環境学習の一環として取り組みます。花と緑の会の方々から丈夫に育てていくためのしっかりとした土作りから教えていただきます。子供たちはそれぞれ「My苗」を植えて晩秋まで観察と管理をしていきます。緑のカーテンは、ヘチマ・ツルレイシ・カボチャ・アサガオ・ユウガオ・ヒョウタンから成ります。今年も立派なカーテンができました。保護者・地域の方々も環境への関心が高まっています。



保合第一小学校

土作りのあとに My 苗



生徒会クリーン作戦

本校では、毎年11月末から12月はじめにかけて、学校周辺および近隣の「向台公園」で、落ち葉掃きを行っています。この行事は、生徒会が全生徒にボランティアを募り、例年、100名以上の生徒が参加します。そして、生徒会が立てた計画にしたがって、各活動場所でグループ毎に分かれ、放課後の1時間余りですが、皆、意欲的に活動しています。市のみどり公園課とも連携し、清掃道具の貸与や落ち葉の運搬・処分などで協力をいただいています。地道な活動ですが、四中生徒の協力や貢献することを大切にしている意気込みを象徴する活動だと思います。



田無第四中学校

地域ふれあい活動

本校では、年間を通して、子供たちと地域の高齢者の方々との交流活動を行っています。校舎内の「地域ふれあいルーム」で、2年生以上の大勢の子供たちが、毎月1・2回ほど、「習字」と「将棋」を教わっていただいています。

習字の活動では、初歩から一人一人丁寧に教えていただけるので、子供たちは徐々に上達し、書き初め展には力作が並びます。将棋の活動では、毎年「全校将棋大会」があり、白熱した勝負が繰り広げられる中、優勝者には記念の楯が贈られます。

この活動は、子供たちの放課後の居場所ともなり、地域のお年寄りの方々に見守られてどの子も楽しく過ごしています。

向台小学校



地域ふれあい教室

ユニセフ募金週間

泉小学校では、毎年、代表委員会が中心となり、ユニセフの募金活動を行っています。

ユニセフ集会では、代表委員が考えたお話や寸劇によって、募金活動の意義や協力することの大切さを全校児童とともに考えます。そして、ビデオを視聴し、ユニセフが募金を役立てて恵まれない子供たちを助ける仕事をしていることをよく理解します。また、飢餓や病気に苦しむ海外の多くの子供たちの生活の様子を見て、さらに認識を深めます。

翌週、ユニセフ募金週間として、毎朝、玄関で募金の協力を呼びかけています。

泉小学校



ユニセフ募金にご協力願います

セーフティ教室

4月18日(金)に、警視庁交通総務課及び警視庁田無警察署の全面的なご協力をいただき、セーフティ教室を実施しました。

今回は、従来の不審者対応に加え、道路交通法の改正を念頭に置いた参加・体験・実践型の交通安全教育を盛り込みました。

全体講義、専門家による模擬交通事故衝突事例(手放し運転・携帯電話使用片手運転・見通しの悪い状況・自転車二人乗りなど)、実技教室(自転車点検・強風下での走行など)を通じ、生徒たちは交通安全について多くのことを学ぶことができました。

明保中学校



警察官から、自転車の点検方法について教えていただいています